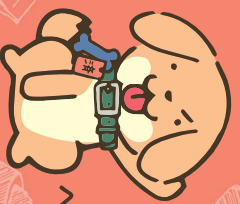


ペットを守るには飼い主だけ。
大切な家族のため、
今からできる準備をしておきましょう。



ペットの防災実行委員会



ペット健康 防災手帳

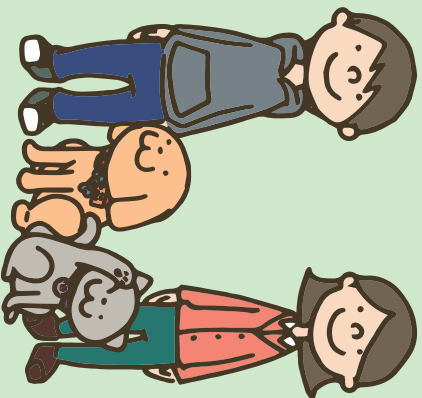
防災家族会議
ペットの災害対策を考えよう



飼い主の名前				動物種	犬・猫
ペットの品名				毛色	
生年月日	年	月	日	性別	オス・メス

はじめに

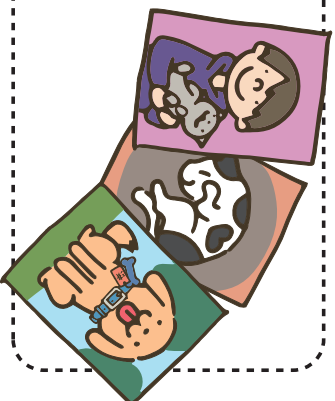
この手帳は犬と猫のご家族が「ペットの災害対策」の一連の流れを知り、災害時のイメージを広げること、必要な対策を実行できる助けになるよう作成しています。健康手帳として日頃の健康管理に活用しながら、防災手帳として災害時には一緒に持ち出ししましょう。



ここに保管するもの

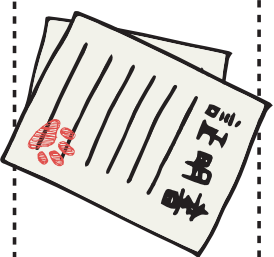
ペットと飼い主の写真

ペットの写真(全身・特徴のある部分)を複数枚(飼い主分と避難所提出分)用意しましょう。飼い主との写真は飼い主証明にもなります。



フケツンなどの証明書

記録を控える時間がない時など、このポケットに証明書を保管しておきましょう。



★これらは、スマートフォンなどでも写真を撮って保存しておきましょう

ペット動物に関する相談先

飼い方についての相談やキャリーバッグ(ケージ)や首輪の慣らし方など、どうぞお気軽にご相談ください。

管轄地域	施設名	問合せ先(TEL)
【阪神・丹波】 芦屋市/伊丹市/宝塚市 川西市/三田市/丹波篠山市 丹波市/猪名川町	兵庫県動物愛護センター	06-6432-4599
【東・北播磨】 加古川市/西脇市/三木市 高砂市/小野市/加西市 加東市/多可町/稲美町/播磨町	兵庫県動物愛護センター 三木支所	0794-84-3050
【中・西播磨】 相生市/たつの市/赤穂市 宍粟市/神河町/市川町 福崎町/太子町/上郡町/佐用町	兵庫県動物愛護センター 龍野支所	0791-63-5146
【但馬】 豊岡市/養父市/朝来市 香美町/新温泉町	兵庫県動物愛護センター 但馬支所	079-666-8071
【淡路】 洲本市/南あわじ市/淡路市	兵庫県動物愛護センター 淡路支所	0799-62-5811
政令市・中核市		
神戸市	こうべ動物共生センター	078-747-3061
姫路市	姫路市動物管理センター	079-281-9741
尼崎市	尼崎市動物愛護センター	06-6434-2233
明石市	あかし動物センター	078-918-5797
西宮市	西宮市動物管理センター	0798-81-1220

プロフィール

健康記録

旦那の心かけ

ミニアルバム

平時時の備え

避難カード

情報サイト

9.防災情報提供サイト

平常時にアプリのダウンロードしておきましょう。

■ ひょうご防災ネット(アプリ、防災メールの登録)

情報収集は
大切にや
らねば



Android  iOS 

Google Play  App Store 

で手に入れよう からダウンロード

・登録制メール配信 hy@bosai.net へ空メール送信

■ 住所地の市町村の防災情報(アプリ、HP、メール登録)

■ 気象庁ホームページ【キキクル】

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



■ 国土交通省ウエブサイト【防災ポータル】

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-portal/>



■ 国土交通省ウエブサイト【防災情報提供センター】

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>



■ 住所地の市町村の災害テレビホンセンター、テレビホンガイドなど
避難情報・防災行政無線の内容などをお知らせ

■ 家族の安否確認

NTT西日本 災害の備え・対策サイト

災害用伝言ダイヤル 171 / 災害用伝言板 web171など



POINT

災害時には電話回線が繋がりにくくなるため、家族や友人の安否をスムーズに確認するツールとして、SNSなども用意しておきましょう。事前にグループを作成し、自分の位置情報を伝える機能を確認しましょう。

ペットを災害から守れるのは飼い主だけ

住まいの安全性を高め、避難の準備をすることはもちろん、健康面やしつけを含めたペットの平常時からの適正な飼育も有効な災害対策です。
この手帳を活用して、すぐに家族とペットの災害対策を始めましょう。



Contents

- | | | |
|----------------|-------|------|
| 1. ペットのプロフィール | _____ | p.3 |
| 2. 飼い主のプロフィール | _____ | p.4 |
| 3. もしもの時の預け先 | _____ | p.4 |
| 4. ペットの健康記録 | _____ | p.5 |
| 5. 日頃の心がけ | _____ | p.9 |
| 6. 災害シミュレーション | _____ | p.15 |
| 7. 平常時の備え | _____ | p.19 |
| 8. マイ避難カードを作ろう | _____ | p.27 |
| 9. 防災情報提供サイト | _____ | p.29 |

平常時の備え

平常時の飼育記録

1. ペットのプロフィール

えんぴつで書くには



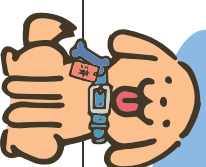
名前			
性別	オス ・ メス	避妊・去勢	済 ・ 未
登録番号(鑑札番号)(犬)	年度	号	
マイクロチップ番号			
その他の所有者明示	<input type="checkbox"/> 首輪 <input type="checkbox"/> 迷子札 <input type="checkbox"/> その他 []		
特徴	<input type="checkbox"/> 毛色(茶白、足先が4本とも白いなど) []		
	<input type="checkbox"/> 毛の長さ <input type="checkbox"/> 目の色 <input type="checkbox"/> 短毛 ・ 長毛] [左 右] <input type="checkbox"/> 尾 <input type="checkbox"/> 真直・折れ・短い・その他 (<input type="checkbox"/> その他、体の特徴(垂れ耳、左に耳カットありなど)]		
性格	人に： <input type="checkbox"/> 友好的 <input type="checkbox"/> 吠える <input type="checkbox"/> 攻撃的 <input type="checkbox"/> 怖がる <input type="checkbox"/> 無関心 犬に： <input type="checkbox"/> 友好的 <input type="checkbox"/> 吠える <input type="checkbox"/> 攻撃的 <input type="checkbox"/> 怖がる <input type="checkbox"/> 無関心 猫に： <input type="checkbox"/> 友好的 <input type="checkbox"/> 吠える <input type="checkbox"/> 攻撃的 <input type="checkbox"/> 怖がる <input type="checkbox"/> 無関心 その他(食べ物が絡むと咬む など) []		
	預かってもらう際に伝えるべき病気・薬		
その他の特記事項			

ここでは「地震」が起きた時を想定して作成してみましょう。
 作成例や、その他災害版(水害や土砂災害)は右の二次元コードから確認できます。作成したペットのマイ避難カードは、家族みんなで確認できるようにプリントアウトして、冷蔵庫などお家中に貼っておきましょう。



予測可能な災害では、ペットを早めに預けておくことも検討を	避難所以外の避難先も事前に探しておくとうれいでしょう
自宅にペットだけで被災	外出時にペットと一緒に被災

ペットと一緒にの避難行動を
 考えておくわん!



★ペットと一緒にの避難行動についての
 詳細はこちら

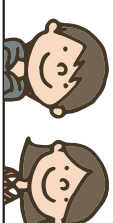


8. 「ペットのマイ避難カード」を作成しよう!

いざという時「いつ」「どこに」「どのように」避難すべきかを事前に確認し、理解しておくことが大切です。災害時の避難行動に役立てるため、状況に応じてペットとの避難を確認できる「ペットのマイ避難カード」(ペットとの避難計画表)を作っておきましょう。

災害の種類 (想定する災害は何か)	地震	
発災時の状況	自宅でペットと一緒に被災	
確認! (どこから情報を入力するか) P29参照		
だれと? (ペットは誰と避難するか)		
いつ? (どのタイミングで避難するか)		
どこに? 安全な 避難先はどこか	昼 (明るい時)	
	夜 (暗い時)	
どのように? 誰とどのように 避難するか	昼 (明るい時)	
	夜 (暗い時)	
その他:メモ		

2. 飼い主のプロフィール



名前:	
住所:〒	
電話番号:	携帯電話:
メールアドレス:	

3. もしもの時の預け先



親戚・友人・知人 その他 ()	名前: 住所: 電話番号: メールアドレス:
親戚・友人・知人 その他 ()	名前: 住所: 電話番号: メールアドレス:
トリミングサロン	店舗名: 連絡先:
ペットホテル	店舗名: 連絡先:

★お店のSNSをフォローしておく◎

4. ペットの健康記録

動物病院情報



病院名:	_____
住所:	_____
電話番号:	_____
診療時間:	_____
休診日:	_____
担当医:	_____

ペット保険情報

保険会社:	_____
電話番号:	_____
証券番号:	_____

メモ(療法食の情報、メーカーや購入先など)

ビニール袋(大・小)

小さなビニール袋はフードの保存やトイレの片付けなどに、大きなゴミ袋は簡易トイレに活用できます。

洗濯ネット(猫)

移動時に猫を洗濯ネットに入れてキャリーバッグに入れると、万一キャリーバッグの扉が開いた時などにも安心です。避難所での診療・保護などの際にも有用です。

お気に入りのおもちゃ

不安やストレスの緩和に有効です。

ウエットティッシュ

目や耳の掃除、清掃など多用途に利用することができます。

グラシ

ペットシート

食器(フード用、水用)

軽くて割れない素材、折畳み式が便利です。紙血や新聞紙にラップなどでも代用可能です。お血が変わると食べなくなるペットの場合、日頃から慣らしておきましょう。

POINT

準備が出来たら人用の荷物と合わせて持ち、安全に歩ける重さに調整。実際に持ち出し品を持って、ペットと一緒に歩いてみましょう。

また、地域の同行避難訓練にも参加してみましょう!



ワンちゃんの記録



年	狂犬病(犬)	混合ワンちゃん		体 重
	接種日	接種日	ワンちゃんの種類など	
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg
	/	/	種	kg

□ 予備のリード(犬)・首輪

犬の命綱となる首輪・リードは、万々を考えると複数準備しましょう。ロングリード、伸縮性リードはNGです。

猫は首輪の予備を用意しておきましょう。

□ 布ガムテープ、黒色油性ペン、新聞紙

ガムテープは補強や補修の他、文字を書けば名札や伝言メモに使えます。

避難時などにペットをキャリーバッグで運ぶ場合は、上からガムテープで固定すると安心です。

新聞紙は食器、防寒、簡易トイレなどに活用できます。



優先順位2(できれば持ち出したいもの)

□ 防災手帳(この手帳)、写真

避難所入所には、ワンちゃん記録が必要になることもあります。避難先で診察を受けの際、薬の情報や検査結果があると便利です。ペットの特徴が分かる写真と一緒にスマートフォンなどにも保存しておきましょう。



□ 迷子チラシ

被災後の混乱時にすぐに作成するのは困難です。あらかじめ準備しておき、非常持ち出し袋に入れておきましょう。



優先順位3(あると役立つもの)

□ タオルや毛布(ペットの匂いがついたもの)

防寒、目隠し、ベッドなどにも使えます。



安心だニヤリ

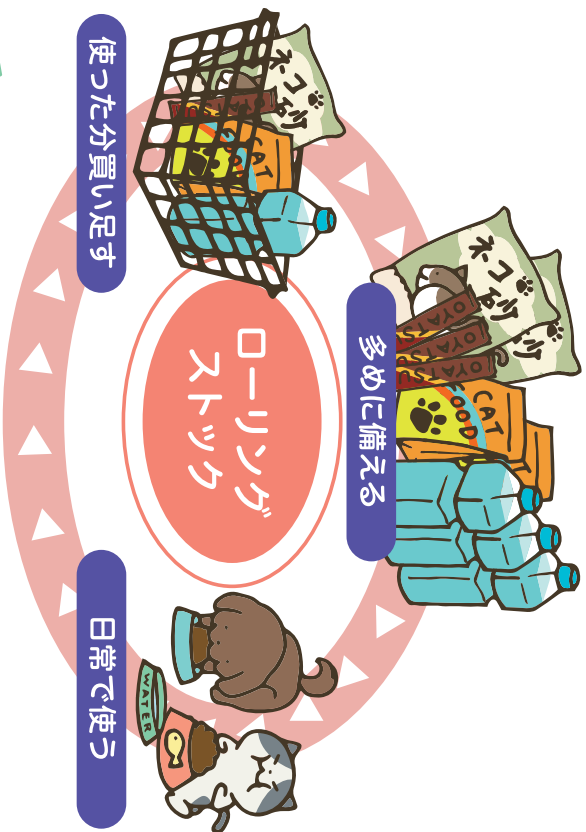
ケージに毛布

■ 備蓄品リスト

人の備蓄に加え、ペットの備蓄も必要です。災害の規模によっては、人の救援物資でさえすぐに届かないことがあります。南海トラフ地震では、さらに広域にわたって大きな影響が考えられます。最低でも1か月分以上を準備しておくといでしょう。

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 薬や療法食 | <input type="checkbox"/> キャリーバッグ(飼育頭数分) |
| <input type="checkbox"/> ペットフード、おやつ | <input type="checkbox"/> 予備の首輪、リード(伸縮しないもの) |
| <input type="checkbox"/> 水(軟水) | <input type="checkbox"/> ペットシート |
| <input type="checkbox"/> ペットシート | <input type="checkbox"/> トイレ用品(猫の場合は使い慣れた猫砂) |

特定の薬・療法食が必要な場合は、事前に動物病院で多めに処方してもらい、特にしっかり備蓄しておきましょう。



POINT

せつかくの備蓄が賞味期限切れにならないよう、備蓄品も持ち出し用の荷物もローリングストックで管理しましょう。



■ 病歴・薬歴



年月日	病名・症状	薬名・投薬方法・投薬期間・注意など

★健康記録の追加シートもあります



5. 日頃の心がけ

災害時には「予期せぬこと」がたくさん起こります。飼い主とペットが、できるだけストレスなく対応するためには、日頃の心がけが大切です。

何をすればよいのかチェックしてみましょう。

！所有者明示

普段から万が一のことを考えて、
飼い主が分かるように首輪や迷子札などの所有者明示をしておきましょう。



POINT

災害時にはペットがパニックになって逃げ出したり、倒壊した壁の間から外に出てしまうことも多いです。もしものことを考えて、迷子ポスターを作成しておくことも有効です。



自宅から避難場所までの地図を描いてみましょう。
危険箇所や役立つ情報(公衆電話など)を書き込むと◎。

避難場所	施設名
	所在地
避難ルート	
危険箇所などメモ	

★ペットが迷子になったら

★迷子ポスター作成

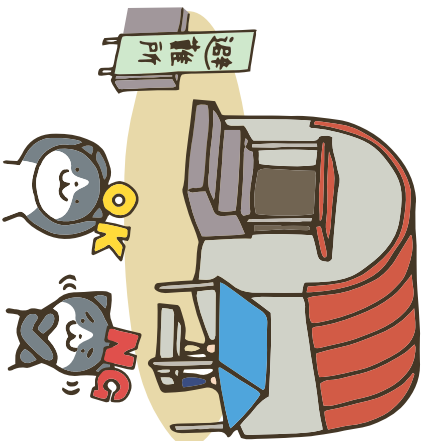


★記入方法はこちら



避難場所と避難ルートの確認

避難場所の確認



- 避難場所について事前に確認しておきましょう。
- 避難場所が、ペットを受け入れ可能かどうか併せてチェック。

POINT

災害の種類や危険性により、避難場所は異なります。親戚や知人宅、自宅上階なども状況に応じて『難』を避ける場所となります。

避難ルートの確認



自宅から避難場所までのルートも確認しましょう。地域の避難訓練などへの参加も避難場所やルートの確認に役立ちます。災害時は、建物の倒壊や河川の増水で通れない道もあります。実際に歩いて、危険箇所を把握し、安全なルートを複数確認しておきましょう。

- 古いブロック塀などがいないか
- 狭い路地や地下道はないかなど

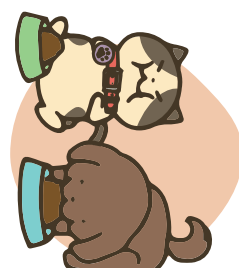
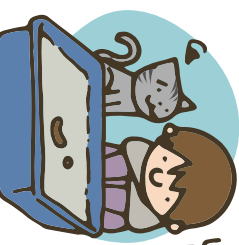
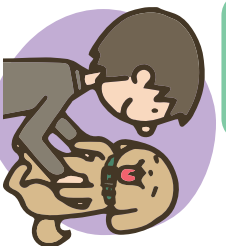
POINT

避難ルートをいつもの散歩コースにしてみても◎

健康管理

災害時は体調を崩すペットが多いです。日頃からペットの健康管理に注意し、ペットの状態をチェックしておくことで体調の変化に気づきやすくなります。避難所には多くの人や動物が集まるため、感染症などの対策も必要です。

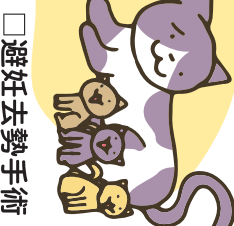
体調管理



- ボデイチェック

- トイレ(色、量、回数)、食事の観察

不妊処置

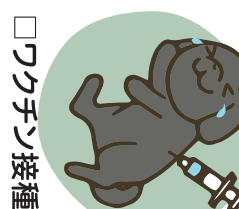


- 避妊去勢手術

POINT

不妊処置は、望まない妊娠、発情行動(鳴き声、喧嘩)や病気などの予防になります。生後6か月を目処に手術を検討してください。

感染症対策



- ノミ・ダニ予防
- 寄生虫予防

POINT

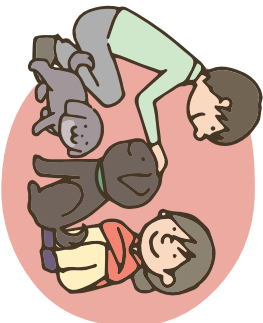
きちんと健康管理をしていると、避難所や動物病院などに受け入れてもらいやすくなります。ワクチン接種が条件になる預かり先などもあるので、しっかりとした準備をしてください。

★ハザードマップもチェック!
兵庫県CGハザードマップ



犬のしつけ

色々な経験をさせておこう

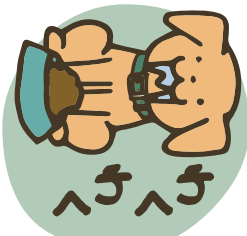


□他の人や犬などに慣らす

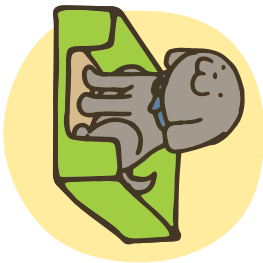


□様々な音や物に慣らす

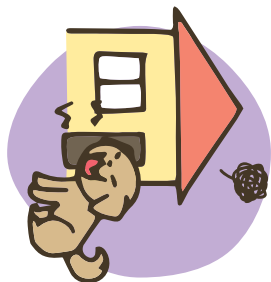
基本的なトレーニングをしておこう



□「オイデ」
「ダメ(やめる)」
「マテ」などができる



□決められた場所で
排泄できる



□不必要に
吠えさせない



□体をどこでも
触ることができる

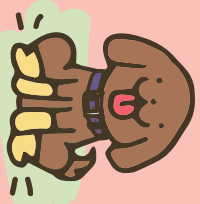


□クレートでくつろぐ
ことができる

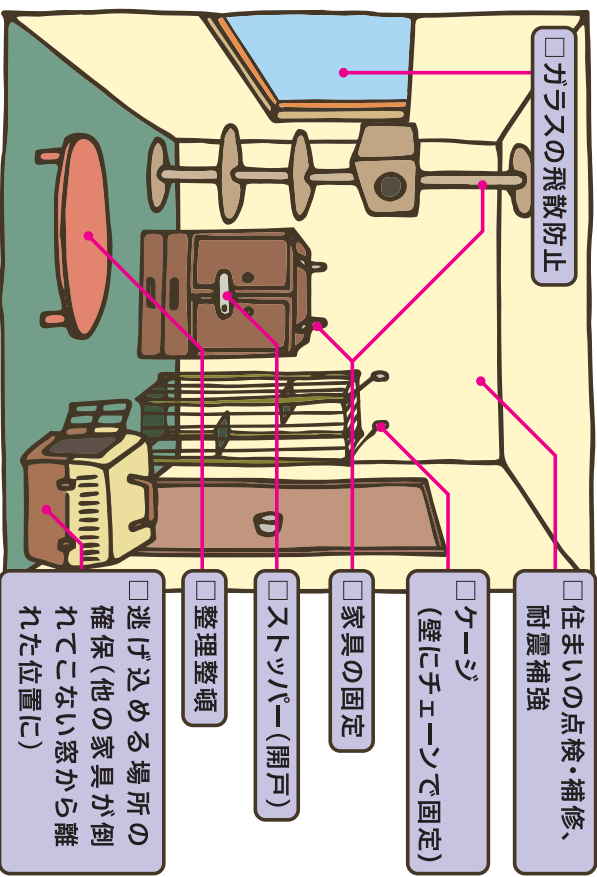
クレートトレーニングを
かじらずやっていくわん!

上級編

□犬用の靴下などに
慣らす



住まいの安全対策



□ガラスの飛散防止

□住まいの点検・補修、
耐震補強

□ケージ
(壁にチェーンで固定)

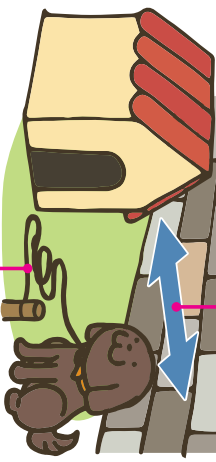
□家具の固定

□ストッパー(開戸)

□整理整頓

□逃げ込める場所の
確保(他の家具が倒
れてこない窓から離
れた位置に)

□屋外飼育場所の安全確保
(ゴロツク塀やガラスが
飛散する場所から離す)



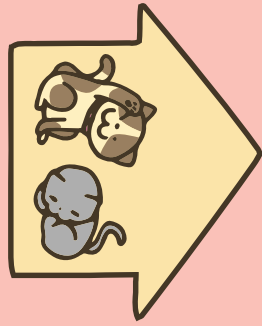
□リードや首輪の状態の確認
(ちぎれないか抜けはないか)

POINT

台風など事前に予測できる災害時は、
安全なお家の中に入れてみましょう。

猫は完全屋内飼育

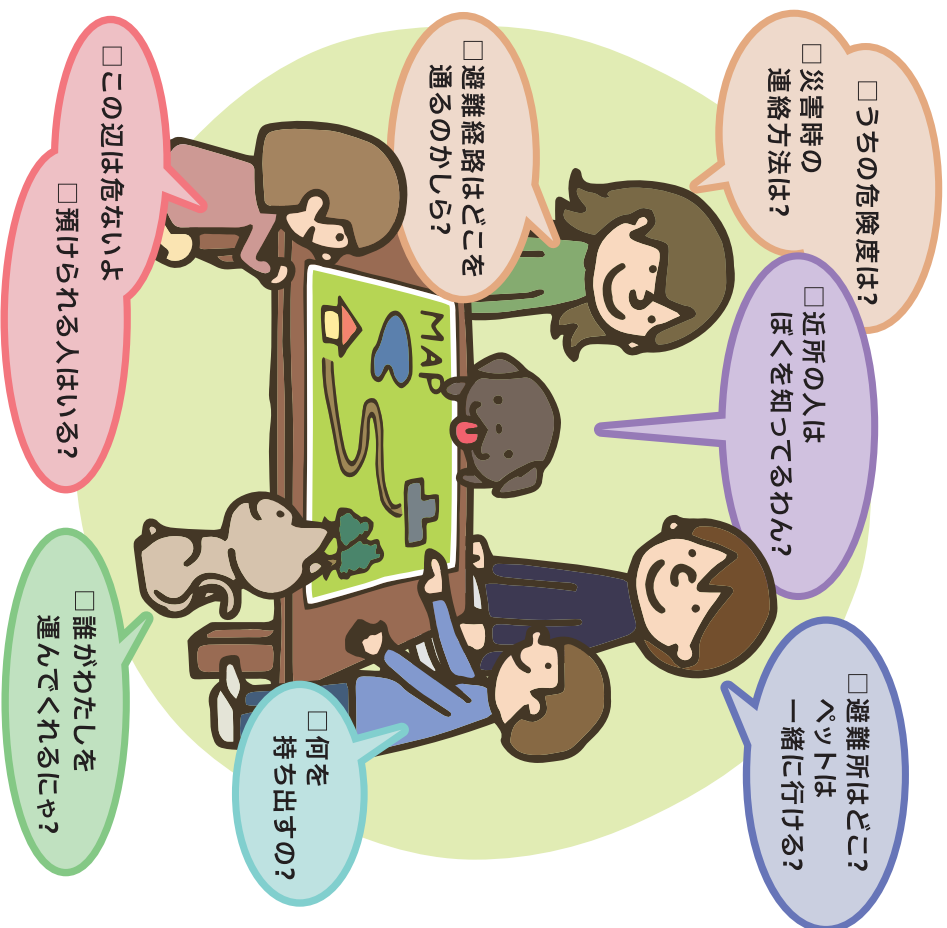
発災時にペットが家に
いないと一緒に避難は
できません。猫の安全を
守るためにも、屋内だけ
で飼育しましょう。



7. 平常時の備え

災害時の家族とペットの安全は、平常時の備えにかかっています。しかし、必要な備えは家族によってそれぞれです。家族で話し合って、事前に準備しておきましょう。

家族で話し合っておくとチェックリスト！



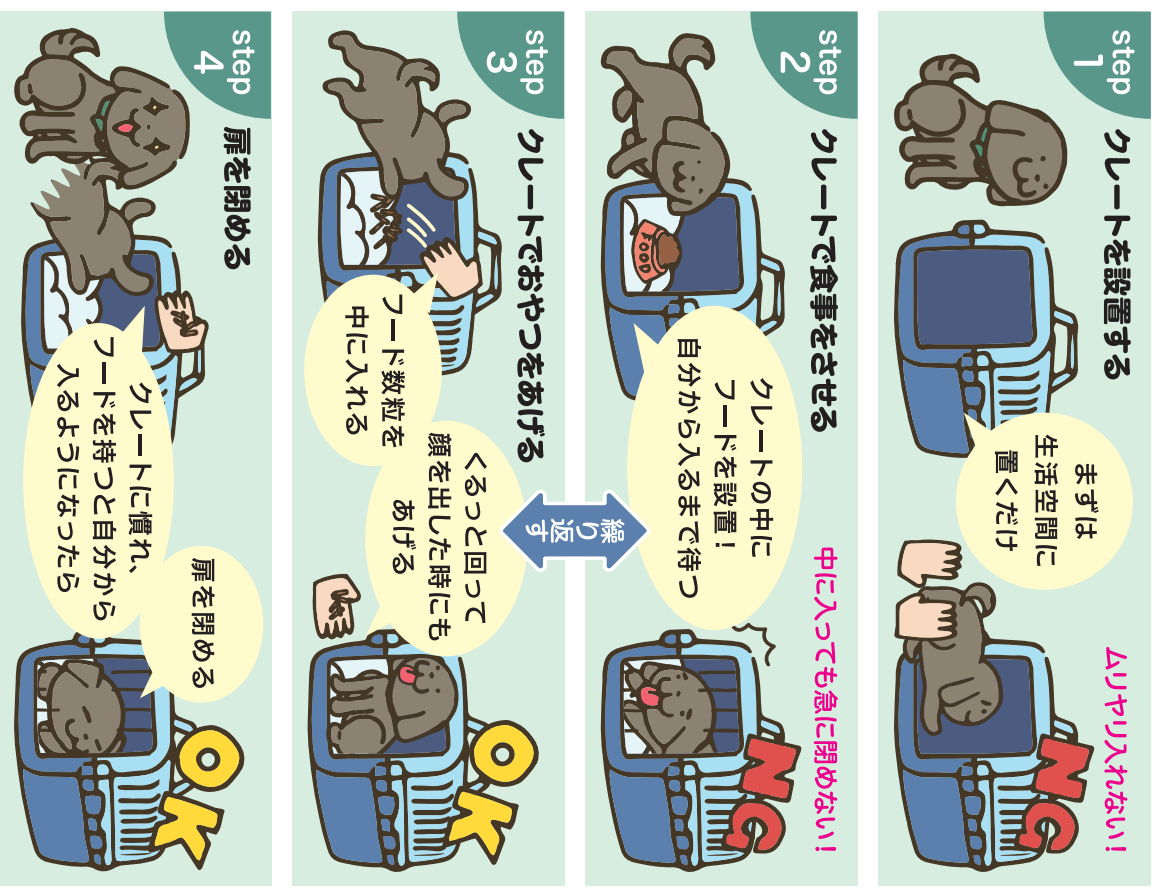
★平常時の備えについての詳細はこちら



犬のしつけ (クレートトレーニング)

POINT

上下分離できるクレートなら、まずは上を外してチャレンジしてもOKです。



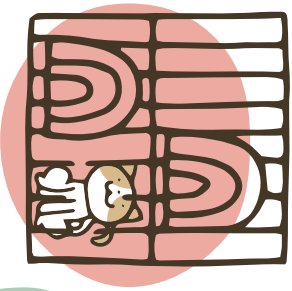
★クレートトレーニングの詳細はこちら



猫のしつけ

POINT

猫のしつけは、飼い主にとっての「やってほしいこと」を猫にとっての「安心なこと、好きなこと」にするのが目標です。猫の様子を見ながら無理のない範囲で、根気強く取り組みましょう。



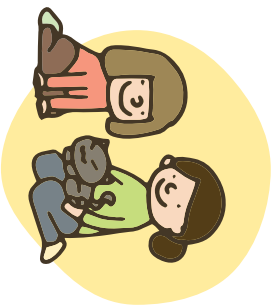
□ケージで安心して過ごすことができる



□体をどこでも触ることができる



□キャリーバッグに入ってくることができる



□家族以外の人や動物に慣らす



□様々な音や物に慣らす

POINT

猫にとって慣れない場所は非常に大きなストレスです。避難生活中は、猫は安全の為に必ずケージやキャリーバッグの中で過ごすこととなります。日頃からケージなどに慣れていれば、災害時の不安を少しでも和らげることができそうですが、慣れていないと更なるストレスを与えてしまうこととなります。現在ケージを使っていないご家庭も、猫のためと考え、是非取り入れてみましょう。

車やテントで避難

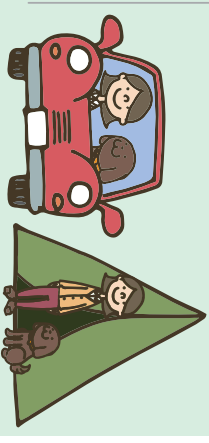
自宅・避難所以外の仮宿として使用可能

■車中泊

一時利用が前提ですが、ペットと一緒に過ごすことができます。逸走防止のためのケージの使用や車内の温度管理など注意することも多く、長時間ペットだけで過ごさせることは×。飼い主のエコノミークラス症候群にも注意が必要です。

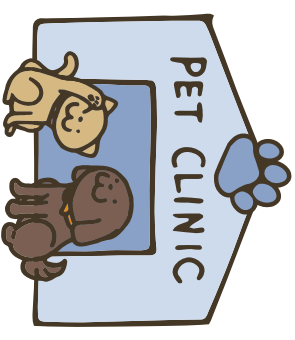
■テント

一定のプライバシーを確保できますが、ペットだけで過ごさせるのはオススメできません。



ペットを預かってもらう

遠方の親戚や知人、動物病院、ペットホテルなどに預けることができます。飼い主も安心です。日頃から様々な選択肢を増やしておきましょう。



POINT

特に猫は、避難所などでケージやキャリーバッグに入りっぱなしになるため、ペットを預かってもらう選択肢の優先度は高めです。複数の預け先を必ず確保しておきましょう。

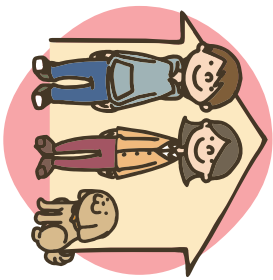
事前に安全な場所(遠方等)に避難

台風など事前に予測ができる災害の場合は、ペットとの宿泊が可能な施設などにあらかじめペットと一緒に避難するという方法もあります。



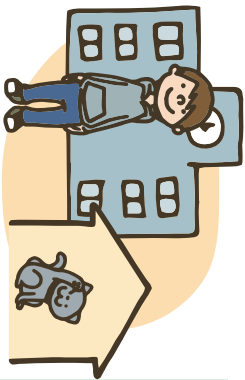
避難生活の形は様々

ペットにも人にもストレスの少ない方法を選択できるよう、様々な選択肢を準備しておきましょう。



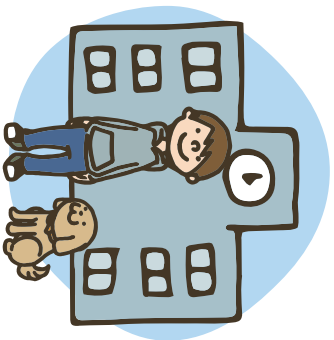
在宅避難

自宅が安全ならば在宅避難しましょう。ペットにとっても自宅で過ごすのが一番ストレスフリーです。知人宅、親戚宅と一緒に過ごすのも〇。



飼い主は避難所、ペットは家

建物自体が安全であれば、ペットは自宅に置いて、避難所から毎日お世話に通う方法もあります。



飼い主もペットも避難所

ペット可の避難所であれば、施設毎のルールに従い、飼い主がお世話や環境管理に責任を持つ前提で、ペットも避難所で過ごすことができます。

※みんなが不安な気持ちで過ごす避難所では、いつも以上に周りに配慮した飼い主のマナーが問われます。

POINT

避難所では様々な人が一緒に過ごします。夜中にトイレに立った人に犬が吠えたり、子供の泣き声に猫がびつくりする状況もしばしば。ペットと飼い主がその度にストレスを感じることを考えると、避難所でペットと同室で過ごすことが必ずしも最善とは言えません。

猫のしつけ (キャリーバッグに慣らす)

POINT

猫が普段よくいる場所に置いてあげて待ちましょう。

step 1 お気に入りのタオル おやつ・おもちゃ
扉を開けて部屋に置く
焦らず待つ

step 2 中に気づいて入る
ムリヤリ入れない!

step 3 中に入ると良いことがあるニヤ〜
慣れたら

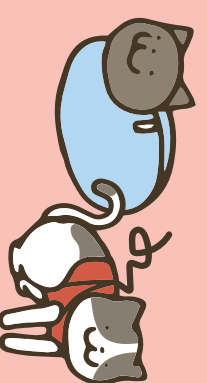
step 4 ドアを閉めて、さらにおやつ
繰り返す

step 5 ケージにも慣らしておこう
さらに

上級編

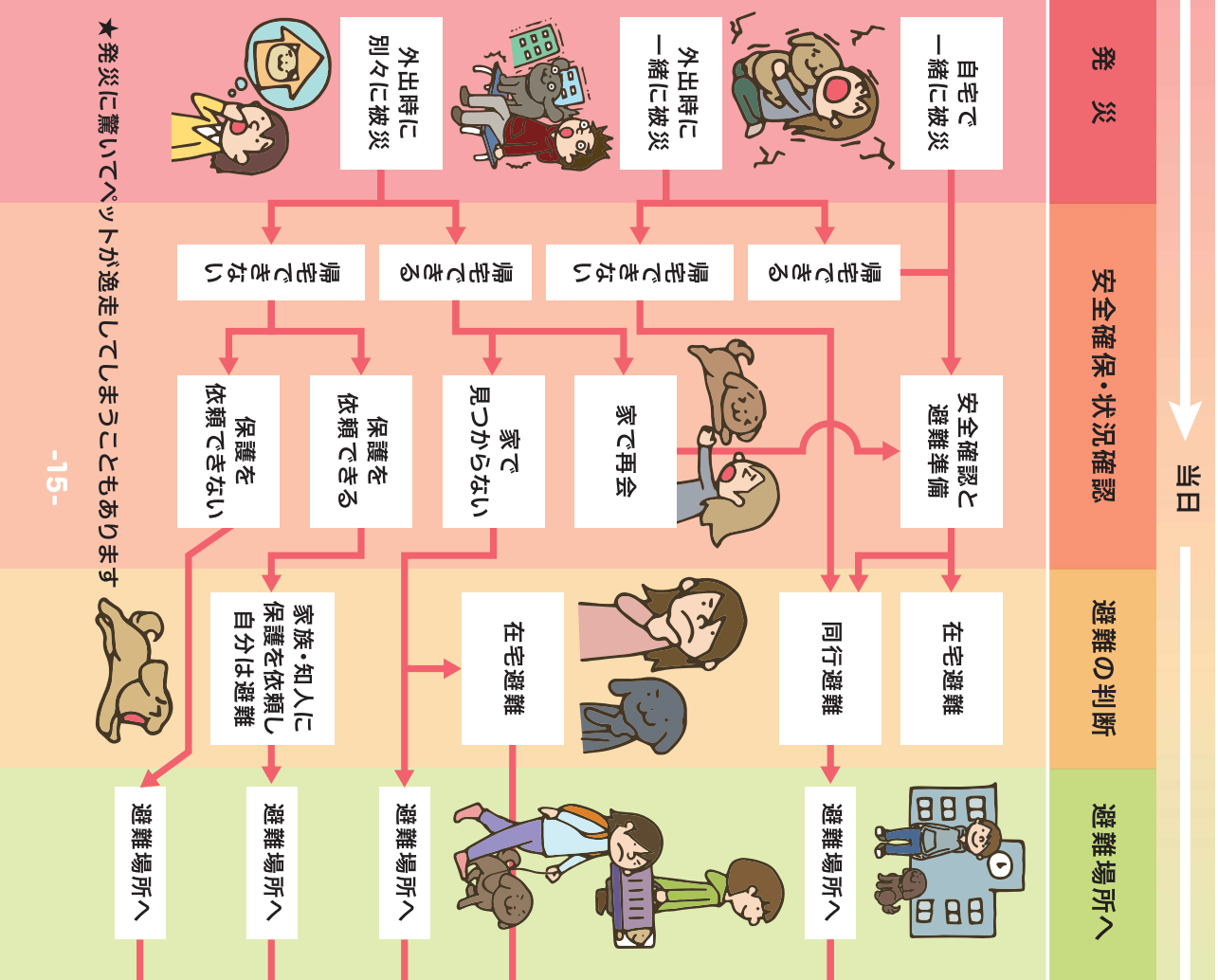
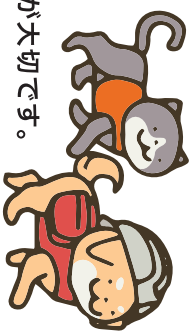
- 室内で洗濯ネットに慣らす
- 室内でハーネスリードに慣らす

★キャリーケースのしつけの
詳細はこちら



6. 災害シミュレーション

もしも災害が起こったらどうなるか？
あらゆる状況をシミュレーションしておくことが大切です。



2～5日

1週間目以降

避難所で過ごすことだけが避難生活ではないわん！

ないニヤ

